



審議はのべ257事業 約600分

CHECK

令和3年度予算審議

3月10日から12日の3日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和3年度予算の審議を行いました。

歳入

町税の額が前年度比マイナス1.2%であるが、コロナ禍の影響で税収はもっと減少するのでは。

【住民生活部次長】

令和2年度決算見込額、日本総研調査数値、政府経済指標等を参考に算出した。

収納対策

スマホ決済アプリを活用した収納システムを導入することだが、いつから開始するのか。利用見込みは。

【収納管理課長】

本年4月から開始する。収納件数全体の約1%、800件の利

用を見込む。



▶スマホ決済サービス

国民健康保険税

滞納者に交付される短期保険証、資格証の交付者数は。滞納者に対する納税指導はどのように行っているのか。

【収納管理課長】

40人〜100人程度。納付催告で納税を促し、分納額を設定し、分納が実行された人には、資格証から短期証、通常の保険証に戻している。

歳出

友好都市の熊野市とは、今年度どんな交流を行うのか。

【政策企画課長】

熊野市で開催されるイベントに本町から出店する。熊野市からは、本町の筆まつりに参加いただく。その他、防災交流事業を計画している。

文化財保護

文化財登録調査委託料の内容は。

【産業観光課長】

本町の筆づくり文化を県の無形文化財として登録申請するための調査費である。



▲伝統工芸士

筆産業の振興

熊野町観光推進協議会が行う芸術系大学生との交流事業の内容は。

【産業観光課長】

筆のつくり手としての交流を目的として、東京芸芸大、大東文化大学等の書道部学生を招き、2泊3日の日程で行う。熊野高校書道部との交流も検討する。

生活福祉交通

おでかけ号の運行財源である基金が10年後にはなくなるのでは。財源の確保策は。

【生活環境課長】

運行内容の見直しと併せて検討する。

災害予防

二河川浸水想定区域の見直しに伴い作成する洪水ハザード

マップの部数は。

【防災安全課長】

1万1千部作成し、町内へ全戸配布する。



▲ハザードマップ

災害時の避難場所

出来庭地区のスーパー・ディオとハローズの駐車場を災害発生時の避難場所として協力いただく予定はないか。

【防災安全課長】

ハローズとは協定締結に向け協議中。ディオとは今後、避難場所として使用させていただく協議を申し入れる予定。

ひとり親家庭の支援

ひとり親家庭調査の内容は。

【子育て支援課長】

総括質疑

財政運営

町長は施政方針で、安定した財政基盤の確立に向け収入を増やす方策を検討すると述べているが、具体的には。

【財務課長】

町税等収納率の向上、事業の見直しによる経費の節減、ふるさと納税の周知、未利用資産の売却、貸付、国県補助金など財源確保に努める。

女性管理職の登用

行政の活性化に向け、女性管理職の登用を積極的に推進すべきでは。

【副町長】

課長補佐、主査など女性の管理職候補は多くいる。適正公平な人事配置を行っていく。

増えている。早急な町道拡幅が必要では。

【建設農林部次長】

空地や空き家解体等の情報があれば、積極的に用地取得し町道拡幅に繋げたい。



▲中溝地区の町道局部改良

河川の浚渫工事

県管理河川を含め堆積土砂の多い河川から浚渫工事に入ることだが、地元との事情、要望に配慮した順位付けを考えたほしい。

【建設農林部次長】

地元の要望等を十分に聞いて進める。

筆の里工房周辺整備

令和3年度の工事

小中学校の学力検査

検査結果をどのように活用しているか。

【教育指導課長】

1月に業者委託で検査実施した。結果を踏まえ、学校管理職と担当者で授業改善につなげている。

くまどく事業

「くまどくノート」の改善は進んでいるか。

【町公民館長】

これまでの未就学児から中学生まで同じ内容のノートから、各年齢段階に応じたノートに変更するよう改善を進めている。



▶くまどくノート